

核融合研究グリッド構築に向けた 広帯域ネットワークによるヘリカル およびトカマクプラズマ特性 解析の検証

日本原子力研究開発機構

小関隆久、射場克幸

研究報告

- 平成18年度に設置されたSNETを用いて、NIFS及び他のLHDネットワークに接続している研究機関と、Viewstationを用いてテレビ会議を開催し、問題なく利用できることを確認
- TANDBERGを用いた場合には接続されるものの、音声及び映像の通信が不可となる現象が発生
(解決済)
- 核融合研究グリッドについて、データを送受信するのに十分な帯域(1Gbps)があるものの、通常のTCPの通信を実施した場合、遅延の影響を受けるので、この点に留意してシステムを構築する必要

その他報告1

計算機接続申請関連

- テレビ会議支援用計算機(204号室分)

購入消耗備品

- 平成18年度に購入した計算機にて、テレビ会議における資料共有及びセキュリティ性能の向上を目的として購入

その他報告2

- 5月1日に、バックボーンのネットワークが SINET3に変更となり、それに伴う切り替え工事に対応
- 部屋の配置転換により、SNETと接続可能な部屋を209号室から215号室に変更
- 原子力機構における電源設備の定期点検等、計画停電により原子力機構に敷設された SNETが4回不通